

自然災害対策としての「ぎょさい」

～ 東日本大震災から 5 年～

未曾有の東日本大震災から 5 年が経過しました。被災された皆様には改めてお見舞い申し上げます。日本は地震大国と言われておりますが、このような大震災は二度と起きないことを願うばかりです。

さて、漁業の復興状況を漁業共済の加入状況から推察しますと、東日本大震災での被害が特に大きかった岩手県、宮城県、福島県（以下「東北 3 県」という。）の震災前平成 22 年度の共済金額は 412 億円の引受実績がありました。震災直後の平成 23 年度には、共済金額で 222 億円と震災前の 54%まで落ち込みました。その後、漁業者・各関係団体の懸命な努力により漁業も徐々に回復しましたが、平成 27 年度の東北 3 県の共済金額は 313 億円、震災前の 76%の実績で、漁業の復興もまだまだ道半ばであることが推察されます。特に、福島県では丸 5 年という月日が経過した今でも原発事故の影響で操業自粛を余儀なくされ、漁業経営にとって厳しい状態が続いております。一日も早く操業が再開されることを心よりお祈り申し上げます。

震災後の現在も日本の各地で地震や噴火現象が確認され、地震調査研究推進本部の発表（http://www.jishin.go.jp/main/yosokuchizu/kaiko/k_nankai.htm）では、今後 30 年以内に南海トラフ大地震が発生する確率は 70%とされています。震災の記憶を風化させず、自然災害への備えとしてより多くの方に「ぎょさい」を利用して頂けるよう、加入推進を行ってまいりますので、漁業者の皆様、関係各位におかれましては、「ぎょさい」へのご理解、ご協力を賜りますよう、よろしくお願い致します。

平成 27 年度の加入実績（2 月末累計）

（単位：百万円）

区 分	共済金額			漁業者積立額		
	27 年度	26 年度	前年比	27 年度	26 年度	前年比
漁 獲 共 済	265,160	252,621	105%	10,175	9,213	110%
養 殖 共 済	157,134	149,854	105%	5,521	4,456	124%
特 定 養 殖 共 済	84,964	79,668	107%	3,023	2,816	107%
漁 業 施 設 共 済	14,586	14,629	99.7%			
地 域 共 済	8,129	7,028	116%			
合 計	529,974	503,800	105%	18,719	16,486	114%